

海洋教育パイオニアスクールプログラム 成果報告書

- 1 学校名 岩手県 洋野町立宿戸中学校
- 2 活動名 宿戸の漁業復興の一翼を担おう
- 3 実践のねらい

地域の基幹産業である漁業の体験の取組を通して、地域を理解するとともに地域を愛する心を育てる。

特産であるウニを採取し、塩ウニ加工、さらには新巻鮭や鮭とばづくりを行ない、商品として修学旅行で販売する体験を通して多様な学びを得る機会とする。また、学習活動を通して自然の大切さや脅威を学ぶとともに、地域の復興・発展に主体的に関わる態度を育てる。

4 実践計画

① テーマ・概要・活動計画、教科等との関連

【1学年】 総合的な学習の時間、理科

○パソコンスキル 情報収集、まとめに不可欠なコンピュータ操作の基礎学習

○漁業体験

宿戸のウニ（種類、生態、加工、消費、増殖溝の歴史など）や漁業について調べる。また、体験活動を行う前に、職業につくために身につけたいことや、働く上でのコミュニケーションの重要性について学ぶ。海でのウニ採取、ウニの殻剥、塩ウニづくりを行い事後発表会を行う。

○発表 漁業体験についてまとめ、文化祭で発表する。

【2学年】 総合的な学習の時間、社会、理科

○「働くことの目的と意義」について学ぶ

○職場体験

自分の興味のある職業について調べ、自分で訪問先を決めて連絡を取り、3日間の職場体験を行う。その後、体験レポートをまとめ、発表を行う。

○発表 職場体験についてまとめ、文化祭で発表する。

○漁業体験（鮭とばづくり） 鮭の解体加工 鮭とばづくりを行う。

○販売体験の計画と準備 4月に行われる修学旅行での販売体験の計画と準備を行う。

【3学年】 総合的な学習の時間、社会

○修学旅行での販売体験 塩ウニ、鮭とば、新巻鮭等の販売体験を行う。

○発表 販売体験についてまとめ、文化祭で発表する。

【全学年】 総合的な学習の時間

○生き方講演会 地域の様々な分野で活躍している方々から仕事に対する考え方を学ぶ。

② 実践の評価

☆関心・意欲

○学習や活動に積極的に取り組んでいる。

○学習や活動に興味を持って取り組んでいる。

○学習を通して、これからの自分の生き方について考えることができる。

☆思考・判断

○学習の目標を理解し、取り組んでいる。

○学習を通して、新たな課題をみつけだすことができる。

○収集した情報や知識を適切に分析することができる。

☆技能・表現

○自分の意見や考えをまとめることができる。

○機材やプレゼンテーションソフトを適切に使用することができる。

○他者にわかりやすく発表・表現をすることができる。

○個人新聞にまとめることができる。

☆知識・理解

○必要な機器やプレゼンテーションソフトなどの理解を深めることができる。

○新聞の紙面構成等について理解し、活用することができる。

5 今年度の実践

① 計画計画通り実践

② 具体的実践

【1学年】（漁業体験 平成29年7月23日（日）～25日（火））

○事前学習 宿戸特産のウニを通して、自然環境、生態、漁法、加工、増殖溝の歴史について学ぶ。

○漁業体験 7月23日（日）ウニの採取 24日（月）殻剥、塩ウニ加工 25日（火）瓶詰加工

宿戸特産のウニ漁、加工、販売までの体験を行う。体験活動を通して、自然環境、地域の歴史、流通の仕組みなど多様な学びのスタートとする。

○協力 種市南漁業協同組合 宿戸漁業研究会 種市南漁協女性部 県北広域振興局

一日目



ウニの扱い方



海の中へ

二日目



殻剥と身の取り出し



身をきれいに



飽和食塩水で塩ウニに

三日目



一晩寝かせて瓶詰



ラベル貼り作業



宿中塩ウニ完成

【2学年】（漁業体験 平成29年12月4日（月）～12月21日（木））

○漁業体験 事前学習

12月4日（月）鮭の解体加工、新巻鮭づくり・鮭とばの切り身づくり

12月4日（月）～21日（木）鮭とばの乾燥・熟成・観察記録

鮭を加工し、新巻鮭をつくる。また、鮭をおろし、鮭とばにする切り身を作り、学校のペランダで乾燥・熟成させ、鮭とばを完成させる。乾燥・熟成が終わるまで、観察と記録を行なう。その後、漁協で保管し、修学旅行での販売用商品とする。

○協力 種市南漁業協同組合 宿戸漁業研究会 種市南漁協女性部 県北広域振興局



鮭のおろし方



身をおろす



学校のベランダで熟成



毎日の観察と手入れ

【3 学年】（販売体験 平成29年4月20日（木））

○販売体験 東京都いわて銀河プラザで、塩ウニ、新巻鮭、鮭とばを販売する。商品の真空パック詰めからパッケージデザイン、販売まで生徒の企画で行う。

○協力 種市南漁業協同組合



販売の準備



いわて銀河プラザでの販売体験



【全学年】 校内発表会において成果発表

③ 成果と課題

- (1) 基幹産業である漁業を題材に、地域の自然や歴史、販売体験等多様な学びを行うことができた。また、漁業者の方々と共に活動することで実感のともなった勤労観を得ることができた。
- (2) 地域の担い手を育成するという目的から、地元漁業協同組合や地域住民の協力を得ることができ、学校と地域の共同の取り組みとして定着した。さらには、宿戸地域の特色の一つに数えられるようになった。
- (3) 3年間を見通した計画により、学習の連続性が保たれるようになった。
- (4) 学校だけでは実施できないため、地域住民や漁業協同組合の協力が不可欠であり、地域の指導者の育成が課題である。
- (5) 体験だけで終わらずに生きた学力とすることが、今後の大きな課題である。

6 主な連携機関及び内容

連携実施機関：洋野町教育委員会 洋野町種市南漁業協同組合
宿戸漁業研究会 種市南漁業協同組合女性部
岩手県県北広域振興局 岩手県立種市高等学校海洋開発科
いわて銀河プラザ

宿戸中学校 「宿戸の漁業復興の一翼を担おう」

【実践のねらい】

地域の基幹産業である漁業の体験の取組を通して、地域を理解するとともに地域を愛する心を育てる。

特産であるウニを採取し、塩ウニ加工、さらには新巻鮭や鮭とばづくりを行ない、商品として修学旅行で販売する体験を通して多様な学びを得る機会とする。また、学習活動を通して自然の大切さや脅威を学ぶとともに、地域の復興・発展に主体的に関わる態度を育てる。

【具体的目標】

- 1 地域（宿戸・洋野）に対する理解（歴史、自然、人々等）を深め、地域の復興・発展に積極的に関わろうとする態度の育成
- 2 勤労の尊さの理解と人間的及び職業的視野の広がり
- 3 適切な進路選択や職業的自己実現を求める態度の育成
- 4 自然の恵みへの感謝と自然の脅威への備え
- 5 いろいろな立場から、地域産業を担う意識の醸成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 学 年	①パソコンスキル ②海の生物について ③地域と自然環境 ④宿戸の漁業の歴史		漁業体験学習 1日目ウニ採取 2日目ウニ殻剥と 塩蔵 3日目瓶詰 商品加工		文化祭発表準備 資料のまとめ プレゼンテーション準備 個人新聞作成						まとめ 校内発表会	
2 学 年			職場体験学習 仕事調べ 体験計画 体験学習		文化祭発表準備 資料のまとめ プレゼンテーション準備 学級新聞作成		漁業体験学習 事前学習 鮭の生態 新巻鮭づくり 鮭とばづくりと作業 （3週間）				まとめ 校内発表会	漁業体験 新巻鮭商品化 鮭とば商品化 販売体験準備
3 学 年	修学旅行 商品販売実習 塩ウニ 新巻鮭 鮭とば 成果報告会 壁新聞 個人新聞				文化祭発表準備 資料のまとめ プレゼンテーション準備 学級新聞作成						まとめ 校内発表会	